



2024.
7.6^{SAT}—8.25^{SUN}

10:00—18:00 (入館は17:30まで)

月曜休館(ただし7/15[月祝]と8/12[月休]は開館、7/16[火]と8/13[火]は休館)

一般900(700)円、大高生・65歳以上700(550)円、
中学生以下無料

*障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります

(他の割引と併用はできません)



東京新聞 140th

Meguro
Museum of
Art, Tokyo

目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36
Tel.03-3714-1201 <https://www.mmat.jp>

主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、東京新聞、岡谷市 企画協力:イルフ童画館 《星曜日》 武井武雄 1965年 水彩、クレヨン

生誕
130年

武井武雄展

幻想の世界へようこそ

誕生130年 武井武雄展

『幻想の世界へようこそ』

大正期、子どものための文化が目覚ましく開花しました。1918(大正7)年には児童雑誌『赤い鳥』が創刊され、「童謡」が誕生します。伝承された昔話や民話だけでなく、これらを基に新たに創作された物語、さらに全く新しい創作童話も発表されました。しかし、当時出版された挿絵は、物語の添え物としかみなされませんでした。このような状況下で、子どものための芸術こそ本物の芸術でなければならない、そのために「童画」という言葉を発案し、これを一つのジャンルとして確立することを目指し、活動した人物がいました。その人こそ武井武雄(1894-1983)です。今年、誕生130年を迎える武井の豊富な創作活動をふりかえる展覧会を開催いたします。

武井は「童画家」として活躍する一方、版画家、デザイナー、教育家としても大いに活躍しました。さらに、郷土玩具収集にも没頭し、『郷土玩具東の部西の部』(1930年)の出版により初めて郷土玩具を体系的に紹介するという研究者としての一面もありました。

本展では、子どもの心に触れる絵「童画」、銅版画や木版画など多様な技法で制作された「版画」、装丁・函(はこ)・本文・絵で構成される総合芸術で「本の宝石」とも称される「刊本作品」を軸に、原画類やデザインの仕事など、多岐にわたる武井の幻想にあふれる世界をご紹介します。巡回展である本展において目黒会場のみ展示として、武井と日本童画会で志を共にした目黒ゆかりの作家、秋岡芳夫の童画作品もあわせて展示いたします。

さらに、「アウト・オブ・民藝 武井武雄編」では、展示とトークイベントを通して武井の関連人物を相関図で紐解きます。他にも、武井の生涯と作品を解説する講演会など、様々な角度から武井芸術の魅力に迫ります。

Takeo Takei Welcome to the World of Fantasy

2024.7.6 SAT 8.25 SUN

EVENT

講演会|武井武雄の生涯と作品

講師:山岸吉郎(イルフ童画館館長)
7月6日(土)14:00~15:30
参加方法・定員/当日先着順50名程度

展覧会を記念し、武井作品を所蔵するイルフ童画館館長をお招きし、武井芸術の魅力をお話いただけます。

大人のための美術カフェ

8月3日(土)16:00~17:00
参加方法・定員/当日先着順20名程度

本展の担当学芸員が武井武雄刊本作品の魅力についてお話しします。数冊の刊本作品を手にとりご覧いただけます。

トークイベント|武井武雄のネットワーク

講師:軸原ヨウスケ(デザイナー、アウト・オブ・民藝)、中村裕太(アーティスト、アウト・オブ・民藝)
8月24日(土)15:00~16:30
参加方法・定員/当日先着順50名程度

「民藝運動」の周辺を探る調査や立体的な相関図に表して展覧会を行う「アウト・オブ・民藝」の活動をするお二人をゲストに、武井武雄の人的なネットワークの見どころを語っていただけます。

*いずれの催事も、参加には当日有効の展覧会鑑賞券が必要です。



①《おやゆびひめ》 武井武雄 1965年 水彩、クレヨン
②《鳥の連作 No.7》 武井武雄 1969年 木版画
③ 刊本作品|左上から時計回り:No.49『Harem』1961年 アプリケ/No.55『ラムラム王』1964-65年 絵入童話/No.63『祈祷の書』1966年 S ベランの本/No.31『木魂の伝記』1957-58年 寄せ木細工/No.59『人魚と嫦娥』1965-66年 螺鈿細工/No.108『ナイルの葦』1980年 パピルス紙、凸版
④《おもちゃ繪諸国めぐり 宮城》 武井武雄 制作年不詳 伝承木版

<アクセス>

- JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分
- 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分
- 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分
※目黒区民センター隣接
※当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど他の交通機関をご利用ください。
※お車で越越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。



イルフ童画館
童画、版画、刊本作品、玩具など武井武雄の芸術を楽しむことができる唯一の美術館。「イルフ」とは武井の造語で、“フルイ”を逆さまにして「新しい」という意味を持っています。
長野県岡谷市中央町2-2-1
TEL:0266-24-3319

